

科目名	総合演習 I E					単位	2.0
担当教員	平野 仁美						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	4266

●授業のテーマ

・子どもを「人間としてみる」ということを様々な角度から学ぶことで、保育者という仕事への理解を深める。

●到達目標

・文献学習を通して、現代の子育て・保育・教育の課題をみつめる。
 ・保育実践（キッズカレッジ）を通して、関係発達論の視点から、課題をまとめる。

●学習内容(授業概要)

・文献学習と保育実践の両面から、保育について学びあう。
 ・文献要約の仕方、討論への参加の仕方、レポートの書き方、などを学ぶ。
 ・ディスカッションを通して、ともに育ちあう。

●学習内容(授業計画)

1. 子どもを「人間としてみる」というテーマで学びあう
2. 文献学習①（要約・討論・学びをまとめる）
3. 文献学習②（要約・討論・学びをまとめる）
4. 文献学習③（要約・討論・学びをまとめる）
5. 保育実践への準備（キッズカレッジ運営の仕方・役割分担・準備）
6. 第1回保育実践（キッズカレッジからの学び・エピソード記述）
7. キッズカレッジからの学びの整理
親子関係の観察から（気づきの発表・討論・まとめ）
8. 文献学習④（要約・討論・学びをまとめる）
9. 文献学習⑤（要約・討論・学びをまとめる）
10. 文献学習⑥（要約・討論・学びをまとめる）
11. 文献学習⑦（要約・討論・学びをまとめる）
12. 保育実践への準備（キッズカレッジ運営の仕方・役割分担・準備）
13. 第2回保育実践（キッズカレッジからの学び・エピソード記述）
14. キッズカレッジからの学びの整理
親子関係の観察から（気づきの発表・討論・まとめ）
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

<準備学習>

・指定された文献を読み、要約して配布資料として準備する。

<事後学習>

・討論の内容をまとめレポートを作成して提出する。

●成績評価方法・基準

- ・ 提出レポートの評価（80%）
- ・ 討論内での意欲や内容の評価（20%）

以上を総合的に評価する。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：子どもを「人間としてみる」ということ—子どもとともにある保育の原点、著者名：子どもと保育総合研究所[編]佐伯胖・大豆生田啓友他、出版社：ミネルヴァ書房、販売先：ゼミ担当者、備考：全員必ず購入

《No.2.》書籍名：「共感」、著者名：佐伯胖編、出版社：ミネルヴァ書房、販売先：ゼミ担当教員、備考：必ず購入すること

●参考文献／その他

「関係発達論の構築」鯨岡峻著、ミネルヴァ書房、1999年

「<育てられる者>から<育てる者>へ」鯨岡峻、NHKブックス日本放送出版協会

「関係発達論の展開」鯨岡峻著、ミネルヴァ書房、2005年

「ひとがひとをわかるということ—間主観性と相互主体—」鯨岡峻著、

ミネルヴァ書房、2007年

「エピソード記述入門」鯨岡峻著、東京大学出版会、2010年

「保育のためのエピソード記述入門」鯨岡峻著、ミネルヴァ書房、2007年

「エピソード記述で保育を描く」鯨岡峻/鯨岡和子著、ミネルヴァ書房、2011年

●履修上の注意

- ・ 授業は、文献要約をもとに討論します。必ず、指定箇所を読み、授業に参加しましょう。
- ・ 授業後のレポートは必ず提出しましょう。